

令和2年度 青梅市立第七小学校 学校評価シート

<学校経営方針の重点>

- 1 確かな学力の育成 2 豊かな心の育成 3 健やかな体の育成
4 家庭や地域との連携 5 特色ある教育活動の推進

| 項目 | 経営目標 | 本年度の重点 | 具体的な方策 | 評価 | 分析結果 | 改善策 | 学校関係者評価記入欄 | | 学校の見解と今後の方向性 |
|-------------|--|---|---|----|---------------------------|--------------------------|------------|----------------------|---------------|
| | | | | | | | 評価 | コメント | |
| 確かな学力の向上 | 「自ら考え、みんなで学ぶ子供の育成」の実現に向けて、確かな学力の向上を図る。 | 国語科・算数科を中心に、付けた力をもとに分かる・できる・楽しいを実感し、共に学び高め合う児童の育成を図る。 | 問題解決的な学習を重視し、めあて・振り返りのある授業を通じて学習意欲の喚起を図る。 | A | 意欲を高める工夫がめあてを達成させた。 | ホワイトボード等を活用してコロナ対策を講じる | A | 工夫して授業する様子が伺える。 | 研修を生かした授業力向上 |
| | | | 言語活動の充実や読書活動の推進を基盤に、基礎的・基本的な事項の習熟を図る。 | B | 言葉に注目した様々な学びができています。 | プリント等で基礎的な事項の習熟を図る。 | B | 読書に対する意欲が高まっている。 | 図書室の利用数の向上 |
| | | | 互いの考えのよさに学び合う学習活動を充実させ、考える力、表す力の育成を図る。 | A | 発表ボード等の活用が成果につながった。 | 話型指導も含め、系統的な指導を行う。 | A | 小グループで意見交換の場がある。 | 発達段階を意識した指導 |
| 豊かな心の育成 | 相手を尊重する態度を育み豊かな心の育成を図る。 | よさに着目し、よさを認め励ますことを通じて、共に高め合える関係の構築を図る。 | 気持ちのよい挨拶や言葉遣いの啓発、いじめをなくす取組を通じて、人権教育の推進を図る。 | A | 高学年や代表員会の良い効果が広がった。 | さん付けについては意識を高め定着を図る。 | A | 挨拶運動を今後も継続してほしい。 | 挨拶と呼称の指導の充実 |
| | | | たてわり班活動や交流活動の充実をもとに、思いやりや尽くす心の育成を図る。 | A | たてわり清掃等を通して心の成長が見られた。 | 今年度できなかったことを確実に引き継ぐ。 | A | 高学年がリードして交流ができた。 | 担当する教員の引き継ぎ |
| 健やかな体の育成 | 安全・安心な環境を作り、健やかな体の育成を図る。 | 健康の増進と体力の向上を推進し、自分の命は自分で守ろうとする態度の育成を図る。 | 日常的な体づくりの取組を通じて、健康の増進と体力の向上を推進する。 | A | マラソン大会の取組が体力低下を取り戻した | コロナ対応の中体力づくりを継続する。 | A | 体力向上に継続的に取り組めた。 | 日常と行事の両面で推進 |
| | | | 安全指導や避難訓練・安全教室の充実と徹底を通じて、命を守る教育の推進を図る。 | A | 救急救命の技能は価値があり成果といえる。 | 手洗い指導なども継続して効果を高める。 | A | 命の大切さを学ぶ取組の継続を願う | コロナ対応下での実施 |
| 家庭や地域との連携 | 家庭や地域との連携を推進し、家庭や地域の一員としての自覚や態度を高める。 | 地域と心がかよう学校づくりに向けて、家庭と連携して、地域を愛し、地域づくりに関心のある児童の育成を図る。 | 地域に根ざした教育を充実させ、地域を大切にする児童の育成を図る。 | C | 外部講師等が招聘できず十分とは言えない。 | 総合的な学習の時間の内容を精選していく。 | A | いろいろ庵の活用が見られた。 | 地域教材の整備と活用 |
| | | | あらゆる機会を通じて、地域に開かれた学校づくりの推進を図る。 | B | 特に2学期の行事で、保護者や地域に開くことができた | コロナの状況を見ながらその都度工夫改善していく。 | B | 今後も無理のない範囲での学校公開を望む。 | 学校便り等でのこまめな発信 |
| | | | 家庭と連携して、よりよい学習習慣の定着を図る。 | B | 教育相談日や日頃の連絡が定着につながった | 休校期間中のよい協力を継続していく。 | B | 家庭との連携は、とれている | 家庭と学習面で連携強化 |
| 特色ある教育活動の推進 | 個に応じた指導体制の充実を図る。 小中一貫教育等の推進を図る。 | 教育相談体制や特別支援教育の充実を図る。 小規模校同士による連携を推進する。 | 児童一人一人の実態について情報連携を図るとともに、校内委員会を通じて組織的に対応する。 | C | 情報共有は適切だが組織的対応に課題がある | 対応する部署を明確にし、各種会議を開く | A | 個々での対応が活かされていると。 | 組織的な対応等の強化 |
| | | | 行事や授業の連携を通じて、第六中学校や成木小学校との交流活動を推進する。 | C | 成木小との交流はできる限りのことを行った | 六中とはより緊密な連携を行っていく。 | B | できることを無理せず実施していた | 六中、成木小との連携強化 |